

2026 年度「基礎研修Ⅲ」募集要項



「基礎研修Ⅱ」を修了された方に対して、受講者を募集します。

愛知県社会福祉士会では、昨年度に引き続き、全ての演習を、ZOOMを使用したオンラインで実施します。この研修は、日本社会福祉士会生涯研修制度と認定社会福祉士制度に基づいており、認定社会福祉士認証のための研修です。

■生涯研修制度における基礎課程の位置づけ

<ねらい>

社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけます。生涯研修制度の修了認定は、研鑽を積んでいる社会福祉士であることを証明します。

■基礎研修Ⅰ～Ⅲは、3期にわたる研修です

2026 年度の研修形態は、①事前課題(事前学習)、②eラーニングによる講義の視聴、③オンラインでの演習受講、④事後課題(レポート作成)を交えて実施します。

1年間で全研修を修了できなかった場合、修了できなかった科目・テーマを、翌年度以降に受講して修了することもできます。ただし、認定社会福祉士の認定を申請するためには履修期限があり、基礎研修Ⅰ～Ⅲにわたる研修を最大6年間で修了する必要があります。

※ 2020 年度は特例が認められたため、2020 年度を含む場合は最大 7 年間での修了です。生涯研修制度(認定社会福祉士の認定を目指さない場合)においては、期限はありません。

○基礎研修Ⅲのねらい

「社会福祉士として共通に必要な知識・技術を踏まえた、実践の展開を学ぶ」

事前学習・事前課題・講義のeラーニング視聴→オンラインでの演習受講→レポート作成

○費用

受講費用:会 員:34,900 円 / 非会員:69,800 円

延長受講以外は、全日程一括料金。消費税・peatix 手数料を含む。

*延長受講は 延長 1 年目 :会員 1 日 1,300 円 / 非会員 1 日 2,600 円

延長 2 年目以降:会員 1 日 3,600 円 / 非会員 1 日 7,200 円

*eラーニング受講費用について 愛知県社会福祉士会会員は、無料です。

愛知県社会福祉士会会員以外の方については、所属都道府県士会指定の費用が必要です。

*テキスト代 :受講には、後述のテキスト、ならびに ワークブックが必要です。

所持していない方は、各自で日本社会福祉士会にお申し込み下さい。

○受講資格

2025 年度までに基礎研修Ⅱを修了している方 または 基礎研修Ⅲを延長受講する方

お申し込みについて

■締め切り:4月3日(金)12:00

■申込方法:

- ①愛知県社会福祉士会ホームページ → 「お知らせ」 → 「生涯研修センターからのお知らせ」 → 「基礎研修Ⅲの申し込みはこちら」のリンクより、申し込みサイト(Peatix)へ遷移します。
- ②チケットを選択し、案内に従い申し込み、入金を済ませて下さい(コンビニ・ATM 決済の方は表示された期限までにお支払いいただけない場合、申し込みが無効となりますので、ご注意ください)

*延長受講をご希望の方は、直接、下記事務局までお問い合わせ下さい。

*一旦お振り込みいただいた受講費は、自然災害による研修中止以外、いかなる場合も返金できませんので、ご了承下さい。

■問い合わせ先: 一般社団法人 愛知県社会福祉士会

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目7番2号 桜華会館 南館1階

月~金曜日 10:00~17:00 ○ TEL:052-202-3005 ○ FAX:052-202-3006

○ E-mail:acsw@aichi.email.ne.jp

受講の留意点

■受講の条件

2026年度愛知県社会福祉士会で実施する基礎研修Ⅲは、ZOOMを使用したオンラインで演習を行います。別紙「ZOOM ミーティングを用いたライブ研修の受講方法」をお読みください。

■受講の流れ: 毎月科目によって、事前学習・事前課題・中間課題・修了レポートがあります。

- ① 事前学習、事前課題がある場合は、研修前に取り組む。
- ② eラーニングを視聴する (詳細は、「講義のeラーニング受講について」参照)
- ③ 期日(一部例外を除き、研修10日前)までに、「eラーニング受講証明書」と「事前課題」「中間課題」等を、指定された場所に提出すること。

提出方法は、受講決定時およびホームページにご案内します。

詳細は「基礎Ⅲ eラーニング受講証明書 提出締切日」、「2026年度 基礎研修Ⅲ 課題一覧」参照

- ④ オンラインでの演習を受講する。
- ⑤ 修了レポートや事後課題がある場合は取り組む。

※各科目の指示に従い、指定された場所に提出すること。

修了レポートは、到達目標の70%に到達しない場合、評価者から再提出をお願いすることがあります。

■テキスト等について

受講には、次のテキスト ならびにワークブックが必要です。所持していない場合は、各自で日本社会福祉士会のホームページから購入して下さい。 ([公社 日本社会福祉士会](#))

- 基礎研修 テキスト上巻(2021 年度版) 2,277 円
- 基礎研修 テキスト下巻(2021 年度版) 2,277 円
- 基礎研修Ⅲワークブック(2026 年度版) 660 円

※ワークブック 2026版は、4 月 1 日より販売されます。送料は、各自ご負担下さい。料金の振り込み後に発送となります。早めにお申し込み下さい。

また、2026 年度版のテキスト販売が開始されていますが、愛知県の 2026 年度基礎研修Ⅲは、2021 年度版を継続して使用します。(受講に際し、テキスト改訂に伴う再購入の必要はありません。)

■愛知県で受講できない研修を、他都道府県社会福祉士会で受講することが可能です

○東海四県(愛知・岐阜・静岡・三重)は、協定を結んでいます。

受講を希望される場合は、各県で研修を実施する 14 日前までに、愛知県社会福祉士会事務局にお申し出下さい。

費用は、1 日 3,000 円別途必要になります(追加で消費税・申込手数料が別にかかる場合があります)。

○東海四県以外の受講希望は、全て他都道府県社会福祉士会に、各自で直接申し込んでください。

費用は、各都道府県社会福祉士会が設定した自己負担が別途必要になります。

研修テーマの順番や開催方法にご注意下さい。

○東海四県以外で受講決定した場合は、必ず愛知県社会福祉士会事務局、にご連絡ください。

愛知県社会福祉士会会員の修了認定は、愛知県社会福祉士会で行います。修了認定に必要ですので、確実にご連絡下さい。

○どの都道府県で受講する場合も、1つのテーマの講義と演習は、セットです。講義をeラーニングで行わない都道府県で演習を受講する場合は、講義もその都道府県の開催方法に従って受講して下さい。

○修了レポート作成と付随した科目テーマを振替受講した場合、修了レポートは原則振替先の県士会へ提出し、評価を受けます。

■各科目単位で、全て受講していないと単位認定されません

科目の各月のテーマは受講の順番が定められています。先の月の集合研修を欠席した場合、後の月の集合研修は受講できません。また、県外受講や延長受講をする場合にも注意が必要です。

科 目	受講の順番
地域開発政策系科目 I	10 月 → 中間課題 → 1 月の順に受講 ※10 月と1月は、同じ都道府県士会で受講する。
実践評価・実践研究系科目 I	5 月 → 8 月の順番に受講
サービス管理・経営系科目 I	11 月 → 事前課題 → 12 月の順番に受講

上記科目の研修を順番に受講できない事態が生じた場合は、以下のいずれかの方法をとります。

- ① 同じ科目の次の研修までに、受講できなかった研修を他都道府県で受講する。
- ② 同じ科目を次年度以降に、受講する(延長受講)。

ただし、自然災害など、特別な事情がある場合に、各都道府県士会の判断で上記の限りではない場合もあります。この場合は各県からの案内に従ってください。

愛知県社会福祉士会 2026 年度 基礎研修Ⅲ 演習スケジュール

各研修には、あらかじめ決められた事前学習・課題があります。締め切り日を守って参加してください

○日本社会福祉士会ホームページからログインし、研修講義をeラーニングで視聴してください。

期日までにeラーニング受講証明書ならびに事前課題等の提出がない場合、当日の受講ができませんので、ご注意ください。

■ 研修開始は 8:30 です。

10分以上の遅刻・早退・途中退席は受講とみなしません(欠席扱い)。

基本は第 2 日曜です。6月はありませんので、ご注意下さい。時間は目安です。

日本社会福祉士会、認定社会福祉士認証・認定機構の方針によっては変更があります。

日程	時間(予定)	研修内容:オンライン演習
5月10日(日)	8:30~11:40	オリエンテーション 実践評価・実践研究系科目Ⅰ 「対人援助と事例研究」 「事例研究の基本的枠組み」 「事例研究の方法としてのケースカンファレンス」 「事例研究のための事例のまとめ方」
7月12日(日)	8:30~12:30	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 「実践事例演習Ⅱ」
8月9日(日)	8:30~13:30	実践評価・実践研究系科目Ⅰ 「模擬事例検討会」
9月13日(日)	8:30~13:30	権利擁護・法学系科目Ⅰ 「意思決定の支援」
10月11日(日)	8:30~13:30	地域開発・政策系科目Ⅰ 地域における福祉活動の実際 「地域における福祉活動」
11月8日(日)	8:30~13:30	サービス管理・経営系科目Ⅰ 「社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営」 「福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント」 「リスクマネジメントと苦情解決システム」
12月13日(日)	8:30~15:00 (昼休憩あり)	サービス管理・経営系科目Ⅰ 「事例研究(苦情、リスク、サービス評価)」
2027年 1月17日(日)	8:30~16:00 (昼休憩あり)	地域開発・政策系科目Ⅰ 地域における福祉活動の実際 「地域の課題の解決に向けた具体策について」
2月14日(日)	8:30~16:10 (昼休憩あり)	人材育成系科目Ⅰ 「スーパービジョンのモデルセッション」「新人教育プログラム」

(昼休憩あり)と記載がある月以外は、昼休憩はありません。

講義のeラーニング受講について

■受講方法

1) アクセス方法は以下の2つです

- ① 日本社会福祉士会ホームページ: <https://www.jacsw.or.jp/>
「eラーニング講座開講中」→「視聴を希望する方はこちら」をクリックして、ログイン
- ② 右上のQRコードのURL:<https://www.jacsw.or.jp/csw/eLearning/index.html> からアクセスしてください。



2) ログインする:受講決定時にお知らせします(生涯研修制度管理システムのもの)

- ① ID(会員番号)とパスワードを入れます。
- ② ログインに必要なパスワードは、入会時に日本社会福祉士会から案内が送付されています。

3) 講義を選択して視聴する

それぞれのテーマの講義の前に、「理解度チェックテスト」があります(正解率は問わない)。

- ① 基礎研修テキストの該当ページを読み予習。
- ② eラーニング講義を視聴後に、小テスト(80%以上で合格)。
- ③ 講座タイトル(テーマ)のeラーニング講義をすべて視聴した後にテスト(80%以上で合格)。

4) e ラーニング受講証明書(修了テストがある科目はその受講証明書を含む)を事務局に送付する: 提出方法は受講決定時・ホームページ等でご案内します。

受講証明書 期日	事前視聴講座タイトル(テーマ) *実際の時間には若干の誤差があります
4月27日(月)	実践評価・実践研究系科目Ⅰ ■「対人援助と事例研究」80分 ■「事例研究の基本的枠組み」80分 ■「事例研究の方法としてのケースカンファレンス」80分 ■ 事例研究のための事例のまとめ方 80分
7月30日(木)	実践評価・実践研究系科目Ⅰ ■修了テスト
9月3日(木)	権利擁護・法学系科目Ⅰ ■「意思決定の支援」90分 ■修了テスト
10月1日(木)	地域開発・政策系科目Ⅰ ■「地域における福祉活動」90分 ■修了テスト
10月29日(木)	サービス管理・経営系科目Ⅰ ■「社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営」90分 ■「福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント」90分 ■「リスクマネジメントと苦情解決システム」90分 ■修了テスト
2027年 2月4日(木)	人材育成系科目Ⅰ ■「スーパービジョンのモデルセッション」120分 ■「新人教育プログラム」60分 ■修了テスト

2026 基礎研修Ⅲ 提出課題一覧

提出期日	科目・テーマ
7月2日(木)	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ「実践事例演習Ⅱ」事前課題
7月9日(木)	実践評価・研究系科目Ⅰ「模擬事例検討会」中間課題
9月3日(木)	権利擁護・法学系科目Ⅰ「意思決定の支援」事前課題
9月24日(木)	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ「実践事例演習Ⅱ」★修了レポート
	実践評価・研究系科目Ⅰ「模擬事例検討会」★修了レポート
10月1日(木)	地域開発・政策系科目Ⅰ「地域における福祉活動」事前課題
10月29日(木)	権利擁護・法学系科目Ⅰ「意思決定の支援」★修了レポート
12月3日(木)	サービス管理・経営系科目Ⅰ「事例研究」事前課題
2027年 1月7日(木)	地域開発・政策系科目Ⅰ「地域における福祉活動」中間課題
1月28日(木)	サービス管理・経営系科目Ⅰ「事例研究」★修了レポート
2月4日(木)	人材育成系科目Ⅰ
	「スーパービジョンのモデルセッション」事前課題 「新人教育プログラム」事前課題
2月18日(木)	地域開発・政策系科目Ⅰ 「地域の課題の解決に向けた具体策について」★修了レポート
	人材育成系科目Ⅰ「新人教育プログラム」★修了レポート